

評価会議（平成 30 年度中間）における委員の評価及び意見

受託者等に対する評価

1 項目ごと評価

評価項目		A 委員	B 委員	C 委員	
企画提案（事業計画） 内容および事業の実施状況	協議会の取組 自律的運営に向けた地域活動	(1)「地域課題への取組」にかかる支援の提案内容等 (配点 5 点)	3	3	4
		(2)「つながりの拡充」にかかる支援の提案内容等 (配点 5 点)	3	2	4
		(3)「組織運営」にかかる支援の提案内容等 (配点 5 点)	3	3	3
	事業の実施体制等	(1)自由提案による地域支援の提案内容等 (配点 5 点)	-	-	-
		(2-1)スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容等 (配点 5 点)	3	2	4
		(2-2)フォロー(バックアップ)体制等にかかる提案内容等 (配点 5 点)	3	2	3
		(3)区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容等 (配点 5 点)	-	-	-
	策（取組） 今年度の重点支援	区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる提案内容等 (配点 5 点)	-	-	-

(※) 事業者等において、取組の提案等の記載がなかった項目については、委員評価の対象外のため「-」となっています。

主な意見等

- ・地域振興会から地域活動協議会への支援への過渡期であり、困難性は感じるが、むしろ、それを見据えて以降への対策・事業を講じる必要があるのではないかと。
- ・地域別支援計画を策定して地域支援を進めている点は評価できるが、区役所との意思疎通が十分ではない印象を受ける。
- ・前年度まで「まちづくり塾」など、新たな人材開発の事業を実施していたが、今年度実施していないことは残念である。

- ・支援の成果として広報活動はできつつあるが、議事録の公開に消極的な地域が多いのはなぜなのか。
- ・まちづくり支援員等の体制について、余裕がない印象を受ける。
- ・現状として難しい（旧来の体制にこだわる）地域があるのはそのとおりだと思うが、昨年度と今年度との変化が激しい。区役所としっかり連携していただきたい。
- ・いまだに地域活動協議会への理解度や認知度が低いのが、防災に関する取組みは待ったなしである。従来の町会ではできない、難しい事業を洗い出し、それを実践する組織として位置付けてはどうか。
- ・「地域活動協議会」を地域に浸透させる責任は区役所にあるので、委託者としっかり連携していただきたい。

(採点基準)

- 5点：期待レベルをはるかに上回っている。
- 4点：期待レベルを上回っている。
- 3点：概ね期待レベルに達している。
- 2点：期待レベルを下回っている。
- 1点：期待レベルに全く達していない。